

山鈴運輸株式会社 の巻

(千葉県若葉区)



晩の冷え込みが厳しい3月4日、私たちは第63回目の事業所訪問先として、千葉県若葉区に所在する山鈴運輸株式会社(高橋昭社長)にお邪魔しました。

海上輸送コンテナ貨物の 陸上輸送を主力業務に

初めに、同社の歴史について伺いました。

山鈴運輸は、昭和50年5月に設立され、清涼飲料などのデパート配送業務からスタートされました。その後、バブル経済の崩壊などにより日本経済の低迷が長期化する中、燃料価格の高騰や環境問題対策など運送業界を取り巻く環境は厳しい状況でしたが、高橋社長の明確なビジョンのもと、地道に経営基盤を築き上げてこられました。現在の主力業務は、各地から港に海上輸送されたコンテナ貨物の陸上輸送で、ほかにオートモーション化された高層式倉庫で使用される商品ラック(棚)の配送を手がけられています。

今後の展望についてお聞きすると、「海上輸送は荷傷みが少ないなど安全性も高く、大量の貨物を長距離輸送できる観点から環境に優しい輸送手段として今後も物量の増加が見込まれるため、市場の動向に注視しながら事業を展開していく」とおっしゃられました。



▲高橋 昭社長

読者の皆さまは「国民会議」をご存じでしょうか? 正式名称は「社会保障制度改革国民会議」といい、医療・介護・年金・少子化対策の4つの分野の今後のあり方を議論するために、法律により本年8月までの期限つきで設置された会議です。

少子高齢化による人口構造の変化に伴い、国民医療費は年々増加

傾向にあり、現状のしくみでは「国民皆保険制度」を存続することが困難な状況となっております。このため、同会議では、国民皆保険制度を持続可能な制度とするため、現在、議論が続けられております。健保組合・健保連は、高齢者の医療を支えている現在のしくみが現役世代への負担を過重なものとしているため、受益と負担の均衡を図るよう公費の投入を強く主張しているところです。国が増大する国民医療費の伸びを抑制するための具体策を明示し、国民が安心して暮らせる社会の実現のため、持続可能な社会保障制度の構築と実行に期待するところです。

立春を過ぎ、街の景色も徐々に春めいてきましたが、まだまだ朝

高橋社長が経営手腕を発揮され、長年にわたって培ってきたノウハウとネットワークを主軸に、現在の地位を確立されたことはいままでもなく、多様化する現代社会の中で、強みを活かし、組織を活性化することでますます同社が発展することと確信いたしました。

社員のスキルアップを目的に、ドライバーズミーティング等に参加

話題は変わり、社員教育についてお聞きしました。運送業界は、経済活動や私たち



▲山鈴運輸株のトラック

国民生活にとって欠かせない存在です。それゆえに、安心・安全・事故防止・環境保全など、事業者にはコンプライアンスの遵守が求められています。同社では、社員のスキルアップを目的として、月に数回ほど実施するドライバーズミーティングと、トラック協会などが実施する講習会に積極的に参加させ、人材育成に取り組んでいらつしやることとです。

特に、成果の上がるミーティングを効率的に実施するため、参加者は5人〜7人程度の少人数制で実施しているとのこと。「話をして指示・指導するのではなく、一人ひとりが仕事内容、運転技術、目的などについてみずから考え、個人の意見をより多く発言させるためには、少人数参加型」が適している」とおっしゃられました。その中で、「個人の意見を聞き、他人から学び、自己の視野を広げること、社員一人ひとりの意識が向上することに期待している」とつけ加えられました。

自主・自立性を身につけることは、仕事へのやりがいや責任感が

生まれ、仕事の成果につながります。その結果、ビジネス競争力が高まり、高品質な輸送サービスの提供を実現することで、長年にわたる健全な事業運営を続けられてこられたのだと私たちは感じました。私たちは、改めて人材育成の重要性に気づかされました。組合員の皆さま方に充実したサービスが提供できるよう、今後とも職員のスキルアップに努めていきます。

趣味のゴルフにより運動不足とストレスを解消し、健康管理

最後に、社長ご自身の健康管理についてお聞きしました。健康にはたいへん関心がおありのようで、定期的に健康診断を受診し健康維持、疾病の予防・早期発見に努められているとのこと、数年前から健康のために飲酒はやめられたそうです。趣味はゴルフとのこと、運動不足解消と日頃のストレス発散に役立てているようです。

高橋社長は、前述のように組合会議員として、また、一般社団法人千葉県トラック協会理事、同協

会千葉支部副支部長など複数の要職を担っておられ、日頃から業界の環境改善活動に取り組まれています。私たちの想像以上に、肉体的・精神的にご負担がかかっていらつしやると思いますので、高橋社長には引き続き健康に十分留意いただき、ご活躍されますようお願いいたします。

高橋社長の穏やかな笑顔に包まれた取材もあっという間に予定の時間を迎え、取材を終えることとなりました。高橋社長をはじめ、山鈴運輸の皆さまご協力ありがとうございました。